

NETIS登録製品
CB-980093-A

概要

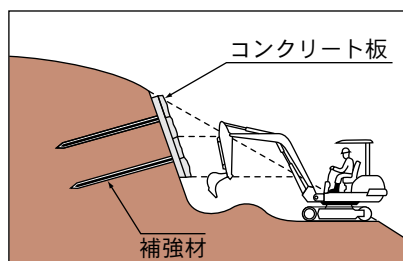
PAN (Panel And Nail) Wall工法は急勾配斜面安定工法の一つである、補強土工法の理論に基づく工法です。補強材には従来から使用されている鋼棒やロックボルト等を用いますが、表面保護工にはモルタル吹付やコンクリート吹付の代わりにプレキャストコンクリート板を用い、現場作業の低減と意匠デザインの多様化に対応します。

特長

1. 逆巻き施工を基本とし、余分な切土や埋戻しを必要としないので、土工量が低減できます。
2. 大幅に掘削土量が削減できるので、森林維持と自然環境の保護が可能となります。
3. 高所作業が発生しないので、極めて安全性の高い工法です。
4. 吹付作業が不要となり、作業員の負担が軽減できます。
5. コンクリート板は工場生産のため、品質に優れると同時に意匠も様々に対応できます。

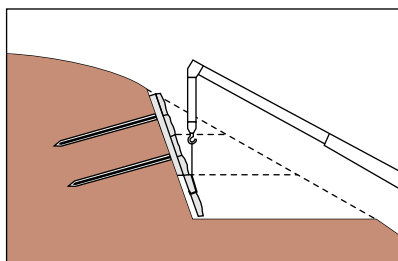
施工手順

1. 掘削・法面整形



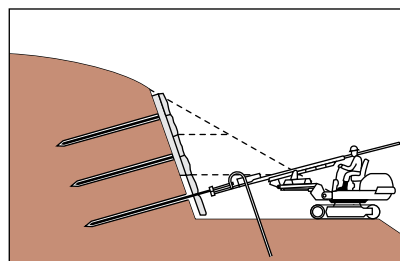
バックホー0.4m³クラスにて、パネル1枚分（約1,200mm～1,300mm）掘削します。その後に透水管と裏込注入パイプをセットします。

2. コンクリート板据付



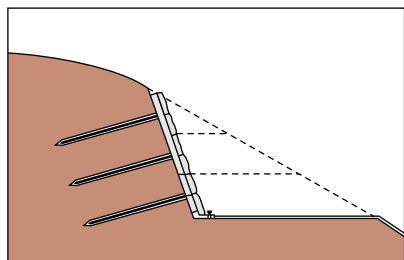
専用の吊り具を使用して、所定の位置にコンクリート板をセットします。

3. 補強材打設・グラウト



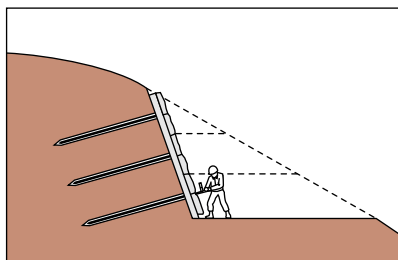
ボーリングマシン等を使用して削孔し、補強材を挿入した後、グラウト注入を行います。

4. 裏込注入



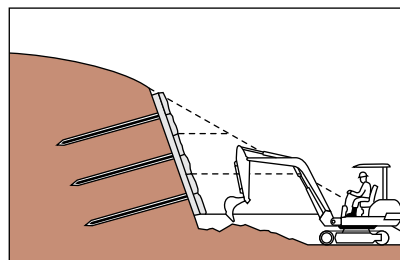
コンクリート板と地山との隙間に、セットしておいた注入パイプを介して、モルタルを注入します。

5. 補強材頭部定着



トルク・レンチにより補強材頭部を定着し、その後キャップを装着します。

6. 次段掘削



次段以降は1～5の繰り返し作業になり、最終段施工完了後に、基礎工を施工します。

標準コンクリート板形状

1穴タイプ、割石乱積模様

- 表面化粧は、要望に応じて用意します。
- コンクリート板は抑止力に応じたタイプがあります。
- 2穴タイプもあります。

